

令和8(2026)年度

か ていがくしゅう て び
「家庭学習の手引き」



年 組 号 氏名

八代市立八竜小学校
八代市立坂本中学校



てび つか たいせつ ねが 手引きを使うときの大切なお願い

じどう せいと 【児童・生徒のみなさんへ】

○おうちの「見える場所」に貼りましょう。

いえ がくしゅう ばしょ は
家で学習する場所から、いつでも見えるところ（机の前や壁など）に貼っておきましょう。できている
か、いつでも確認できるようにしておくことが大切です。



しょうがくせい 小学生のみなさんへ

がくしゅう ひと はな 学習したことを、おうちの人に話そう

がっこう いえ がくしゅう じぶん すす ひと はな
学校や家でどんなことを学習したのか、自分から進んでおうちの人に話してみましょう。

「こんなことができるようになったよ」と伝えることが、自分の力になります。



中学生のみなさんへ

言われる前に、自分から動く習慣を

中学生は、保護者の方に言われなくても、自分で時間を決めて学習する習慣をつけましょう。自分の将来に向けて、自分でコントロールして学習する力を育てる時期です。

【保護者のみなさまへ】

○成長に合わせた目安としてご活用ください。

この手引きは、お子さんの学年（発達段階）に応じて作成しています。お子さんの今の状況に合わせた「目標・参考」としてご活用ください。



小学生の保護者の方へ

家庭での見取りをお願いします

小学生の間は、大人の目で「家庭学習が正しく行われているか」を見取っていただくことがとても大切です。「時間を守り、集中して机に向かっているか」「決められた宿題の内容をきちんとやり切ったか」など、日々の取り組みの様子を確認し、声をかけてあげてください。



中学生の保護者の方へ

自主性を見守り、見取りをお願いします。

中学生は自立の時期です。細かく指示を出すよりも、自分で決めた計画を実行できるよう見守り、確認やサポートをするなど見取りをお願いします。

1・2ねんせい かていがくしゅうのてびき

はじめるじこく	じ	ぶん	はちりゅうしょう () ねん
がくしゅうするばしょ ()			なまえ ()

がくしゅうじかんの めやす
1ねんせい (20ぶん) 2ねんせい (30ぶん)

☆テレビは、けしてがくしゅうします。
☆しゅくだいは、かならずだします。

しょうがくせいは、
がくねん×10ぶん+10ぶん
が、めやすです。

1 じゅんび

- ①きまったばしょで、きめたじこくに がくしゅうします。
- ②がくしゅうするばしょをきれいにして はじめます。
- ③えんぴつ・けしゴム・じょうぎなど、ひつようなものをそろえます。

2 しゅくだい

しゅくだいは、まずはじぶんで かんがえます。

- ①ていねいなで、ていねいにとりくみます。
- ②わからないときは、きょうかしや ノートを見て かんがえます。

3 チャレンジメニュー

しゅくだいがおわったらとりくみます。

4 つぎのひのようい

- ①あしたのじかんわりをします。
- ②じかんわりや れんらくちょうをみて、もっていくもののよういをします。
- ③ふでばこの てんけんをします。
☐けすったえんぴつ5ほん
☐けしゴム
☐あかえんぴつ
☐なまえペン
☐ (じょうぎ)
☐
☐
- ④がくしゅうしたばしょを、きれいにします。

0 けいかく

がくしゅうの けいかくを、じぶんで たてます。

1・2ねんせいむけ おすすめチャレンジメニューのれい

- ☐きょうかしよの おんどくを する。
- ☐これから ならう ところを よむ。
- ☐どくしょ
- ☐さんすうの きょうかしよや けいさんドリルの もんだいを する。
- ☐かんじの れんしゅうを する。
- ☐にっきをかく。
- ☐e ライブラリを する。
- ☐おすすめのほんの しょうかいを かく。
- ☐
- ☐



☆まいにち がくしゅうする
しゅうかんを つけていきましょう!

5 おうちのひとにはなす

がっこうや いえで、どんながくしゅうをしたのか、おうちのひとに はなします。

3・4年生 家庭学習の手引き

始める時こく	時 分	はりゅう小 () 年
学習する場所 ()	名前 ()	

学習時間の 目安
3年生 (40分) 4年生 (50分)

☆テレビは、消して学習します。
☆宿題は、かならず出します。

1 じゅんび

- ①決まった場所で、決めた時こくに学習します。
- ②学習する場所をきれいにします。
- ③えん筆・消しゴム・じょうぎなど、ひつようなものをそろえます。

2 宿題

宿題は、まずは自分で考えます。

- ①ていねいな字で、ていねいに取り組みます。
- ②分からないときは、教科書やノートを見て考えます。

小学生は、
学年×10分+10分が、
目安です。

3 チャレンジメニュー

宿題が終わったら、自分に必要な学習に取り組みます。

4 次の日の用意

- ①明日の時間わりをします。
- ②時間わりやれんらく帳を見て、持っていくものの用意をします。
- ③筆箱の点けんをします。
□けずったえん筆5本
□消しゴム
□赤えん筆
□名前ペン
□じょうぎ
□
□
- ④学習した場所を、きれいにします。

0 計画

学習の計画を、自分で立てます。

3・4年生向け おすすめチャレンジメニューのれい

- ☐教科書の音読をする。 ☐読書をする。
- ☐これから習うところを読み、言葉の意味調べをする。
- ☐学校で学習したプリントやテストの問題をもう一度する。
- ☐算数の教科書や計算ドリルの問題をする。
- ☐漢字の練習をする。 ☐日記をかく。
- ☐e ライブラリをする。
- ☐都道府県について調べ学習をする。
- ☐ローマ字の練習をする。
- ☐学力じゅうじつタイムの問題をする。
- ☐
- ☐



☆毎日自分で学習するしゅうかんをつけていきましょう!

5 おうちの人に話す

学校や家で、どんな学習をしたのか、おうちの人に話します。

5・6年生 家庭学習の手引き

始める時刻	時 分	八竜小（ ）年
学習する場所（ ）	名前（ ）	

学習時間の 目安
5年生（60分） 6年生（70分）

☆テレビは、消して学習します。
☆宿題は、必ず出します。

1 準備

- ①決まった場所で、決めた時刻に学習します。
- ②学習する場所をきれいにします。
- ③えん筆・消しゴム・定規など、必要なものをそろえます。

2 宿題

宿題は、まずは自分で考えます。

- ①ていねいな字で、ていねいに取り組みます。
- ②分からないときは、教科書やノートを見て考えます。

小学生は、
学年×10分+10分が、
目安です。

3 チャレンジメニュー

宿題が終わったら、自分に必要な学習に取り組みます。

4 次の日の用意

- ①明日の時間わりをします。
- ②時間わりやれんらく帳を見て、持っていくものの用意をします。
- ③筆箱の点検をします。
☐けずったえん筆5本
☐消しゴム
☐赤えん筆・赤ペン
☐名前ペン
☐定規
☐
- ④学習した場所を、きれいにします。

0 計画

学習の計画を、自分で立てます。

5・6年生向け おすすめチャレンジメニューの例

- ☐教科書の音読をする。 ☐読書をする。
- ☐これから習うところを読み、言葉の意味調べをする。
- ☐学校で学習したプリントやテストの問題をもう一度する。
- ☐社会や理科などの学習の復習をする。
- ☐算数の教科書や計算ドリルの問題をする。
- ☐漢字の練習をする。 ☐日記をかく。
- ☐e ライブラリをする。
- ☐辞書を使って慣用句やことわざを調べる。
- ☐学力じゅうじつタイムの問題をする。
- ☐
- ☐



☆毎日自分で学習する習慣をつけていきましょう！

5 おうちの人に話す

学校や家で、どんな学習をしたのか、おうちの人に話します。

中学生 家庭学習の手引き

開始時刻	時 分	坂本中 () 年
学習場所 ()	氏名 ()	

学習時間の目安

1年生 (90分) 2年生 (120分)
3年生 (180分)

☆学習に必要なタブレット以外のメディアを使用しません。
☆宿題は、必ずやり遂げます。

1 準備

- ①決まった場所で、決めた時刻に学習します。
- ②学習環境を整えて、必要なタブレット以外はノーマディアです。
- ③教科書やノート、問題集等、必要なものを机の上に置きます。

2 宿題

学習課題の確認をします。
(教科・内容)

- ①自力で取り組み、最初から答えを丸写ししません。
- ②分からないときは、教科書等を見て取り組みます。

やった宿題は忘れずに学校へ！

3 自主学習開始

宿題が終わった後に、
自分に必要な学習に取り組みます。

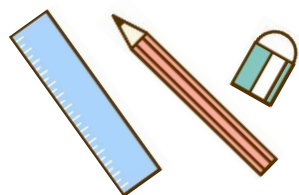
4 次の日の用意

1日の振り返りをして、
明日の連絡事項、持参物等を確認します。

- ①明日の時間割準備
- ②宿題収納 (鞆)
- ③ペンケース点検
 - ☐ 削った鉛筆、シャーペン
 - ☐ 消しゴム
 - ☐ 赤鉛筆・赤ペン
 - ☐ 色ボールペン
 - ☐ 蛍光ペン (マーカー)
 - ☐ 定規
 - ☐
- ④学習機の整理整頓

0 計画

学習の計画を、
自分で立てます。



中学生向け 各教科 (国・社・数・理・英) 家庭学習の例

- ☐ 国語：新出漢字や語句の意味をノートにまとめる。覚えたら自己テストをしてみる。本や活字を読む。
- ☐ 社会：授業で使ったワークシートの要点を自主学習ノートにまとめる。色を付けてきれいに！ (地図や年表も)
- ☐ 数学：授業やテストで間違えた問題、解けなかった問題を再度ノートに書いて解く。
- ☐ 理科：授業の復習として、問題集やタブレット端末を使った問題に取り組む。
- ☐ 英語：教科書の太字の単語を聞いて書いて覚える。複雑な英文ほど繰り返し音読する。
<早く終わったら・・・・・・>
 - ☐ e ライブラリを使ったタブレット端末問題演習
 - ☐ 授業で使っている問題集の繰り返し演習
 - ☐ 夢実現タイムで使った学力充実学習プリント
 - ☐ 各教科の予習 (本読み)
 - ☐



☆継続は力なり！
努力に勝る天才なし！